

(数 学 I) 学 習 指 導 案

学 級	2年3組	教 室	126教室	指導者	(省略)
単 元	第2章 図形と方程式		教科書	数学Ⅱ (東京書籍)	
指 導 目 標	平面状の点を座標で表し、更に、平面上の図形を、その上にある点の座標の関係式である方程式や不等式で表し図形の性質を導く。		指 導 計 画	1 点と直線・・・・・・・・・・・・・・・・ 11時間 2 円・・・・・・・・・・・・・・・・ 6時間 3 軌跡と領域・・・・・・・・・・・・・・・・ 7時間 (本時はその6)	
本時の主題	領域と最大値・最小値				
前時の課題	連立不等式の表す領域3題をノートに図示させる。				
目 標	連立不等式の表す領域が、四角形、三角形、円と直線によってできる図形の境界線上及び内部である場合、それぞれに対して1次式 $ax+by$ の最大値・最小値の求め方を理解させる。				
指 導 過 程	指 導 内 容	欄	指 導 上 の 留 意 点	資 料 ・ 教 具 ・ 評 価 基 準 等	
	導 入	5	・連立不等式の表す領域が、個々の不等式の表す領域の共通部分であることを確認させる。	・課題に取り組んでいるか。 <関心・意欲・態度>	
	展 開	10	・ $y=-2x+k$ と変形すると、傾き -2 、 y 切片 k の直線を表す点及び y 切片で最大・最小を判断する点を強調する。	<知識・理解>	
	開	10	・境界線の傾きと、 $x-y=k$ とおいた直線の傾きに注目させる。	<表現・処理>	
開	20	・境界線が曲線の場合には、接するときも考えることを理解させ、そのときの x,y の値を確認させる。	<知識・理解> プリント		
整 理	1 本時のまとめをする。 2 次時の予告をする。	5	・本時の内容が理解できたかを確認させる。 ・課題を確認させる。		
次時の課題	教科書p.98の間13とp.100の13、問題集『クリアー数学Ⅱ+B』の196を解く。				
備 考	普通科理系 生徒数 37名 (男子27名、女子10名)				